



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

ISSN 1882-4447

vol.7 Autumn 2012

九州大学情報統括本部

ITだより

「ISMS認証 (ISO27001)」を 取得しました

サイト／<http://isms.iii.kyushu-u.ac.jp/> 担当／ISMS運用事業室
連絡先／Tel:092-642-2200 E-mail:isms-room@iii.kyushu-u.ac.jp



目次

ISMS認証取得について

情報統括本部は、情報統括本部が提供するサービス（情報環境整備推進室および情報企画課事務ICT支援グループの事業）を対象範囲として、平成24年3月22日付けでISO（国際標準化機構）の認証基準であるISMS（ISO27001、情報セキュリティマネジメントシステム）の認証を取得しました。



ISMS認定証書

ISMSとは

ISMSとは、『Information Security Management System』の略で、情報セキュリティの継続的改善のために、情報の「機密性」、「完全性」及び「可用性」の観点から、組織的な枠組みを構築・運用していく国際規格です。

情報統括本部では、ISMS運用事業室を設置し、ISMS活動の継続的な運用や、学内へのISMSの普及促進に努めています。

次ページへ続きます

- ・「ISMS認証(ISO27001)」を取得しました
- ・WiMAXを利用したキャンパスネットワークへのアクセス開始について
- ・SSO装置とマトリックスバスワード認証装置を統合
- ・認証能力の強化について
- ・研究用計算機システムで利用できるソフトウェアが増えました



「ISMS認証(ISO27001)」を取得しました

前ページから続き

サイト/<http://isms.iii.kyushu-u.ac.jp/> 担当/ISMS運用事業室
連絡先/Tel:092-642-2200 E-mail:isms-room@iii.kyushu-u.ac.jp

ISMS認証取得による効果・改善点

1. 認証取得による効果

- ①これまであまり気がついていなかった問題点を明らかにし、共有することができました。
- ②課題や問題点を経営者まで報告する体制が構築できたことで、透明性を高め、緊張感をもって仕事に取り組む心構えができました。
- ③通常の業務の方法について、情報セキュリティを高める視点で見直すようになりました。

2. 認証取得による改善点

- ①情報資産の棚卸しができ、資産全体を把握することができました。
- ②情報統括本部で提供するサービスについて、全体で検討する透明性が増しました。
- ③情報セキュリティの視点で従来の事務処理方法等を見直す意識が高まりました。
- ④情報セキュリティを高めるための網羅的なマニュアル(規範)が作成されました。
- ⑤リスクアセスメントにあたって、影響度や影響の範囲以外の視点で見直すこととなりました。
- ⑥予防措置について意識することとなりました。
- ⑦明確になった課題を最後まで追跡できる仕組みができました。

認定書授与式の様子



(左)竹尾BSIジャパン社長 (右)安浦本学理事



前列左2番目から、
久志情報システム部長、藤村情報統括本部長、
廣川ISMS導入プロジェクト長、
山崎情報企画課長 (ISMS事務局長)

ISMS標語コンクール 受賞作品のご紹介

ISMS促進活動の一環として、平成24年7月に情報統括本部内でISMS標語コンクールを開催いたしました。多数の応募があり、審査の結果、最優秀賞および優秀賞を決定いたしました。今後、受賞した標語については、情報統括本部でのISMS活動における取組み活性化のために活用していきます。

最優秀賞

「^{まも}護ろうよ、決めたルールで、リスク回避」 (平野広幸さん)

優秀賞 (3作品)

- ①「セキュリティ 意識と実行 統括本部」 (松尾智恵さん)
- ②「備えよう ISMS! 日頃の努力が報われる」 (河鍋浩明さん)
- ③「いつも 気にする改善点 **すぐに** 適用管理策
みごと 成功リスク低減 **そして** 安心情報セキュリティ」 (戸川忠嗣さん)





WiMAXを利用したキャンパスネットワークへの アクセス開始について

サイト/<http://www.uqwimax.jp/kitenet> 担当/ネットワーク事業室 連絡先/Tel:092-642-2309 E-mail:n-room@iii.kyushu-u.ac.jp

このたびKITEは、モバイル通信サービス UQ WiMAX (UQ コミュニケーションズ株式会社 本社：東京都港区)と接続しました。これにより、UQは、2012年10月1日より、九州で初めての大学専用WiMAXサービス「**kitenet WiMAXサービス** (カイトネット ワイマックスサービス)」の提供を開始しています。

本サービスにより、九州大学の在学生・教職員は、キャンパス内だけではなく、外出先や自宅など全国のWiMAXエリアで学内情報や各種コミュニケーションサイトなどのイントラネット環境を利用できるようになります。

また、サービスの安全性を高めるため、九州大学とUQのネットワークを国立情報学研究所（以下、NII）が運用する「学術情報ネットワーク (SINET4)」を介してセキュアな閉域網として接続し、利用手続きにおいてはNIIが運用する「学術認証フェデレーション (GakuNin)」による利用資格確認を行います。これにより、インターネットVPNなどの特別な操作・設定をすることなく、内蔵PCやWi-FiルータなどのWiMAX機器からのキャンパスネットワークへのアクセスが可能となります。

本サービスは、認証に成功した九州大学の構成員しか契約できないこと、UQ WiMAX網を利用しているので海外からのアクセス（攻撃など）の可能性がないことから、従来の物理的な「学内」のネットワークと同等（以上）のセキュリティレベルを確保できている通信回線です。

なお、本サービスについては、以下の注意事項等を遵守の上、ご利用いただきます。



kitenet WiMAXサービス ご利用手順

全国のWiMAXエリアから学内環境、インターネットを高速・シームレスに利用できる学生・教職員専用サービスです

専用料金プラン (月額契約)ご利用の方

クレジットカードまたは口座振替で月額料金(3,200円:税込)をお支払いいただくご利用形態です。
既に別のWiMAXサービスをご契約いただいている場合は、ご契約しなおす必要があります。
※契約中の機器は一部の事業者専用機器を除き、専用料金プランでもご利用いただけます。

DIS mobileパッケージ (年間パック) ご利用の方

あらかじめ年間分の通信料金をパッケージとしてご購入いただくご利用形態です。本手続き前に同梱マニュアルに基づいて、WiMAX内蔵PCなど、ご利用機器の登録手続きを行ってください。
※ルータ等をセット購入することもできます。販売価格など、詳しくは生協にお問合わせください。

専用サイトにアクセスします。
詳しいサービス内容・ご利用手順もこちらでご覧いただけます。

<http://www.uqwimax.jp/kitenet>

学生IDまたはSSO-KIDによる認証を行います。

専用料金プラン(続き)

オンライン申込フォームの入力

購入する機器(モバイルルータ等)を選択します。
すでにWiMAX内蔵PCなど機器をお持ちの場合、回線のための契約も可能です。申込の途中で「暗証番号」を決めていただきます。

受付番号の取得

入力が完了すると「受付番号」が発行されます。
画面表示とメールにてお知らせします。

必要データの送信

受付完了画面の案内に基づき、本人確認書類を携帯電話のカメラやスキャナでデータ化してアップロードします。※学生証・職員証の利用も可能です。

お申込み内容の確認

UQコミュニケーションズ(株)でご加入審査を実施します。お申込み内容に確認事項があった場合、入力いただいた連絡先へご連絡させていただく場合があります。

ご加入審査完了

お申込み内容の確認が終わり次第、ご購入いただいた機器を発送いたします。

お手持ちのWiMAX内蔵機器の利用

未契約機器をWiMAX接続すると自動的に起動する「WiMAX統合ポータル」からUQ WiMAXを選択いただけます。

回線への登録

「ご利用中のお客様」を選択いただき、申込時に設定された受付番号および暗証番号を入力することで回線と機器がリンクします。

DIS mobileパッケージ(続き)

在籍確認コードの発行

お申込みいただいた方専用の在籍確認コードが発行されます。

接続先の切替申請

ネットワーク切替申込申請書に在籍確認コードを記載してFAXで送ります。書面は専用サイトからダウンロードできます。

切替処理完了

切替完了がメールで通知されます。
ご利用中の機器でWiMAXを接続すると、認証情報が自動的に変更されてKITEに接続されるようになります。

お申込み時に購入いただいた機器の利用

WiMAXを接続すると、認証情報が自動的に設定されてKITEに接続されるようになります。

ご不明な点はお問い合わせください

UQお客様サポートセンター(専用料金プランご利用の場合)
0120-929-818 (9:00~21:00)

DIS mobile WiMAXコールセンター(年間パックご利用の場合)
0120-276-616 (10:00~20:00)



注意事項等

- 本サービスの利用にはUQコミュニケーションズ株式会社との契約(有料)が必要になります。ご利用・契約方法につきましては左ページに掲載の「**kitenet WiMAXサービス ご利用手順**」UQの専用案内ページ <http://www.uqwimax.jp/kitenet> をご参照ください。
- 本サービスはインターネットアクセスにはKITEを利用します。そのため、その利用には「九州大学総合情報伝達システム運用規則」、「九州大学情報セキュリティポリシー」等、本学規則の遵守義務があります。特に本サービスを他人に貸与するなどして、契約した本人以外の方が利用されないよう、注意されてください。
- KITEにおけるメンテナンス作業、障害の影響を受けます。





SSO装置と マトリックスパスワード認証装置を統合

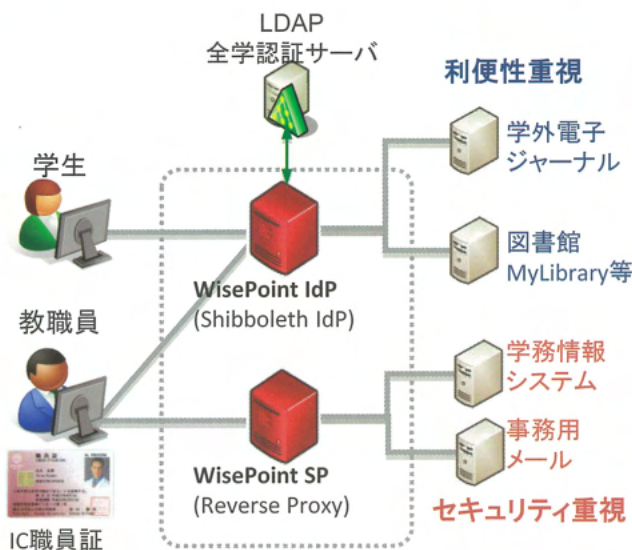
サイト/<http://sso.kyushu-u.ac.jp/> 担当/認証基盤事業室 連絡先/ Tel:092-642-7234
E-mail: id-room@iii.kyushu-u.ac.jp

SSO環境とマトリックスパスワード認証の統合

情報統括本部では、一度の認証で、複数の情報サービスを利用できる、SSO (シングルサインオン) 環境を2010年から整備してきました。2011年度から全国の「学術認証フェデレーション (学認)」にも参加し、電子ジャーナルなど、様々な商用サービスで、学内の全学共通IDとの連携を実現してきました。

一方、成績登録などのセキュリティを重視するサービスのために、2010年からマトリックスパスワード認証装置 (QMAX) を提供してきました (職員のみ)。QMAXは、ネット銀行などでも使われている強固な認証方式を用いているため、重要サービスでも安心して利用できます。

今年度、二つの統合した機能を持つ装置が開発されました。その装置を、全国に先駆けて九州大学へ導入します。既にSSOに対応済みのサービスでは、今までと同様の使い方で利用できます。一方、今までシングルサインオンができていなかったWeb系情報サービスも、本装置の導入によりSSO対応が可能となります。



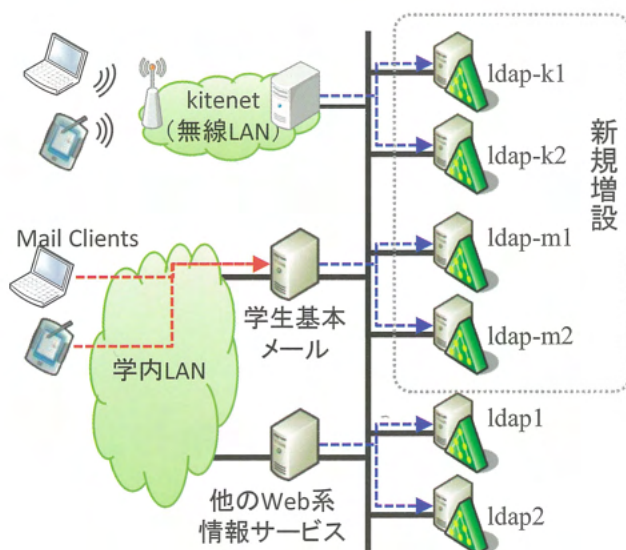
認証能力の強化について

サイト/<http://sso.kyushu-u.ac.jp/> 担当/認証基盤事業室 連絡先/ Tel:092-642-7234
E-mail: id-room@iii.kyushu-u.ac.jp

2009年の全学共通ID (学生IDおよびSSO-KID) の発行および認証基盤の提供により、全学的な情報サービスにおける利用者認証の一元化を実現してきました。多くのサービスが統合され、便利に使える状況になっています。

全学への基本サービスである kitenet無線LAN接続および学生基本メールでも、全学共通IDで利用者認証を行なっています。この二つのサービスは、利用者認証回数が膨大なため、認証サーバの高負荷を起し、そのために一部のサービスで認証処理を取りこぼす事が発生していました。

そこで、今年度、認証サーバを4台増加し、認証処理の分散化を実現しました。今後、スマートフォンやタブレットでの無線LANアクセスと、メール等の利用増加が見込まれるため、多めの台数を準備しています。認証サーバの増加により、認証処理の取りこぼしを防止し、安定したサービス提供が可能になります。





研究用計算機システムで 利用できるソフトウェアが増えました

サイト/<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp> 担当/HPC事業室 連絡先/
Tel:092-642-2308
E-mail:request@cc.kyushu-u.ac.jp

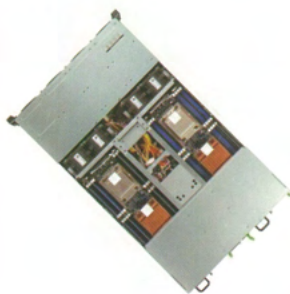
新しい計算機システムの導入に伴い、情報基盤研究開発センターの研究用計算機システムで提供しているソフトウェアが増えました。現在、各計算機システム（スーパーコンピュータ、高性能演算サーバ、高性能アプリケーションサーバ）で利用可能な、主なソフトウェアは以下の通りです。また、各ソフトウェアの利用法は、上記 Webサイトに掲載しています。是非、皆様の研究にご活用ください。

情報基盤研究開発センター 研究用計算機システム ソフトウェア一覧

プログラミング言語	C/C++ (Fujitsu, IBM, Intel), Fortran (Fujitsu, Hitachi, IBM, Intel, PGI), Unified Parallel C, Co-Array Fortran, XP Fortran, MATLAB, IDL
数値計算ライブラリ	BLAS, LAPACK, ScaLAPACK, NAG, PETSc, FFTW, Fujitsu SSL2, IBM ESSL, Hitachi MATRIX/MPP
データ解析	SAS
可視化	AVS/Express, MicroAVS, FieldView, EnSight
計算化学	Gaussian, GAMESS, AMBER, Molpro, SYBYL, PHASE, VASP, CHARMM, SCIGRESS
構造解析	Marc/Mentat, Nastran/Patran
流体解析	ANSYS
並列化ライブラリ	MPI(Fujitsu, IBM, Intel), ARMCi
I/Oライブラリ	HDF5
熱物性値	PROPATH



スーパーコンピュータ
Fujitsu PRIMEHPC FX10



高性能演算サーバ
Fujitsu PRIMERGY CX400



高性能アプリケーションサーバ
Hitachi SR16000 model L2

